

挑戦! 雄志魂



雄志中 HP

挑戦とは…

校長 中野博史

今年の夏はパリオリンピック・パラリンピックがありました。多くの人が、テレビで試合を観戦したり、大会結果を報道するニュース番組や選手たちのこれまでの経歴や取組を特集した番組を視聴したりしたと思います。幅広い年代の選手たちが様々な種目で活躍し、私たちに大きな感動を与えてくれました。皆さんは、どんな場面に感動しましたか。どんな場面が印象に残っていますか。

私は大会中はもちろんのこと、大会前から卓球の早田ひな選手に注目していました。早田選手は、前回の東京オリンピックでは補欠でした。東京オリンピックでは、代表選手の練習中の球拾いをしたり、試合の応援を精一杯したりしている姿が見られました。そんな早田選手は、東京オリンピックが終了して間もなく、パリオリンピックの日本代表選手選考レースが始まる前から、「**パリオリンピックで個人戦でも団体戦でも金メダルをとること**」を目標に掲げ、マスコミのインタビューや自身のSNSでも常にこの目標を繰り返し言葉にしていました。そんな彼女がインタビューなどで私たちに語ってくれた言葉をいくつか紹介します。「**オリンピックはどのアスリートも目指す場所であって、競技を始めたときの憧れの舞台でもあると思うので、オリンピックに出るというのはすごく特別だと思います**」、「**出るだけじゃなくてメダルを取ること、世界一になることが目標のひとつでもあるので、世界一になるために技術を習得しなきゃいけなかったりとか、本当に毎日やることがありすぎて…**」、「**私にとって挑戦、チャレンジは自分の可能性を広げてくれるものだと思います。それが広がることによって、今まで見ていなかった景色が見えるようになってより楽しくなると思う**」このように、早田選手は、自分の立てた目標に向かって、その挑戦自体を自ら楽しんでいる姿を、いつも私たちに見せてくれました。そして、見事、日本代表に選ばれ、パリオリンピックでは大活躍しました。残念ながら、金メダルという目標は達成することができませんでしたが、女子個人戦ではケガと闘いながらも銅メダル、団体で銀メダルを獲得しました。大会後にマスコミから取材を受ける際には、自分は個人戦で獲得した銅メダルを首からかけ、補欠選手に団体で獲得した銀メダルをかけてあげている姿がとても印象的でした。私がこのパリオリンピックで学んだことは、次の2つです。

「挑戦」とは、できるまで諦めずにやること。 自分の夢をかなえるために、毎日とことん楽しむこと。

挑戦するということは、「簡単にはできないこと」、「今の自分ではできないこと」などを、とことん努力してできるようにするということです。ですから、「やりたいことをたくさんやる」とか、「やりたくないことから逃げる」という考えではいけません。将来になりたい自分になるために必要な「やりたいこと」に目一杯、精一杯、挑戦しましょう。1年後の自分のために、将来の自分のために、この2学期はどんなことに挑戦しますか。皆さん一人一人が、将来になりたい自分になれるよう、自分の可能性を信じて、いろいろなことに挑戦することを期待しています。

<前期学校評価>

【生徒アンケートの結果】

・肯定的評価の割合 80%以上

・前年同時期比 +5 ↑ 前年度同時期比 -5 ↓

No	項 目	1年	2年	3年	全校	R5前期	増減
6	係活動や給食当番や清掃活動で、助け合い、協力できた。	97.4	98.0	97.2	97.6	97.7	-0.1
8	日常生活や学校行事を通して、集団の一員として、仲間との連帯感を高めることができた。	94.7	98.0	97.2	96.8	93.2	3.6
13	自分や友達の人権を守るために、よく考え、正しく判断し、思いやりをもった言動をすることができた。	92.1	98.0	97.2	96.0	94.7	1.3
18	学校は楽しい。	97.4	94.0	91.7	94.4	85.7	8.7
14	友達や家族、地域の方に自分から進んであいさつすることができた。	92.1	92.1	94.4	93.5	89.7	3.8
5	自分も相手も大切にしてい互いに意見を伝え合うことができた。	89.5	92.0	97.2	92.7	92.4	0.3
7	生徒会目標達成に向けて、自分の役割を果たすことができた。	92.1	92.0	91.7	91.9	95.5	-3.6
10	道徳や総合的な学習の時間で学んだこと、体験したことを通して、自分の生き方についての考えを深めることができた。	86.8	92.0	97.2	91.9	93.2	-1.3
4	授業で「よく分かった」「よくできた」と実感できた。	89.5	94.0	88.9	91.1	91.7	-0.6
9	地域の一員として、中学校の諸活動で学んだことを通して地域や社会に貢献しようとした。	78.9	90.0	91.7	87.1	72.7	14.4
12	学習や体験活動、道徳等で学んだこと、体験したこと、気付いたことを、日常生活に生かすよう心がけた。	78.9	92.0	88.9	87.1	93.9	-6.8
3	雄志授業スタイル(学びの心得7箇条)を、実践できた。	76.3	90.0	91.7	86.3	87.9	-1.6
17	体育の授業で、自分の体力向上を目標の1つにして取り組んだ。	76.3	90.0	88.9	85.5	90.9	-5.4
11	道徳や総合的な学習の時間で学習活動を通して、地域や社会に貢献できた。	76.3	88.0	88.9	84.7	87.1	-2.4
15	学校のある日は、23時までの就寝を心がけ、十分な睡眠をとるようにした。	56.8	86.0	77.8	74.8	80.3	-5.5
1	定期テストに向けて計画的に学習に取り組むことができた。	65.8	82.0	69.4	73.4	85.6	-12.2
16	メディアの使用時間を意識し、規則正しい生活を心がけた。	47.4	86.0	66.7	68.5	72.0	-3.5
2	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)、学習できた。	65.8	58.0	50.0	58.1	64.4	-6.3



前期学校評価にご協力いただきありがとうございます。結果の概要及び学校課題について、学校だよりで、報告します。結果の詳細及び今後の具体的な対応等については、9月27日に開催される学校運営協議会にて委員の皆様と協議し、改めて地域・保護者の皆様に報告します。

1学期を振り返ってみますと、学校全体としてはとても落ち着いており、いい雰囲気の中で、年度当初の計画通りに教育活動を実施することができました。その結果、生徒アンケートの「学校は楽しい」という項目は、前年度同時期より肯定的評価の割合が大きく増えました。生徒会活動や学級の当番活動などで仲間と協力し助け合いながら集団の一員として自分の役割を果たしたり、善悪の正しい判断や仲間を大切にしたい言動をすることができたりしたと回答した生徒がとても多くいました。また、感染症による教育活動の制限もなくなり、前年度よりも地域のために活動したり、地域の方々と一緒に活動したりする場面が増えたこともあり、全校では8割に達していませんが、前年度よりも大きく数値が向上し、生徒たちの地域への貢献心が育っていることを嬉しく思います。

一方で、保護者アンケートの「充実した学校生活を送っていると思う」の項目では、前年度同時期より肯定的評価の割合が大きく減りました。1年生の保護者の評価が低いことから、中学校生活への順応がうまくできず、学校生活の疲れやストレスをため込んでしまった生徒がいたのではないかと推察しています。約95%の生徒が「学校は楽しい」と回答はしていますが、これは、約5%の生徒は学校生活が楽しくないと感じているということと同意です。否定的評価をした生徒のケアや今後

※ 全校の肯定的評価の高い順に並べ替えてあります

【保護者アンケートの結果】

No	項 目	1年	2年	3年	全校	R5前期	増減	
16	お子様は、毎朝、朝食を食べていましたか。	80.0	87.8	92.0	86.5	90.0	-3.5	
3	本校の教職員は生徒に温かく、また時には生徒のために厳しく、適切に接していると思われますか。	86.7	87.8	84.0	86.5	86.2	0.3	
5	お子様は、ルールやマナーを守る意識が身についていると思われますか。	83.3	82.9	96.0	86.5	85.4	1.1	
2	本校は、よりよい学校づくりに、熱意をもって努力していると思われますか。	76.7	90.2	84.0	84.4	86.9	-2.5	
6	生徒たちの授業や学校行事での様子について、十分な情報が得られていますか。	83.3	82.9	80.0	82.3	76.2	6.1	↑
1	お子様は、充実した学校生活を送っていると思われますか。	73.3	80.5	92.0	81.3	88.5	-7.3	↓
4	お子様の適性や進路について、十分な情報が保護者に提供され、生徒・保護者を交えた相談が適切に行われていると思いますか。	83.3	70.7	88.0	79.2	75.4	3.8	
15	お子様は、歯磨きや十分な睡眠など基本的な生活習慣が身についていると思われますか。	73.3	68.3	80.0	72.9	77.7	-4.8	
17	お子様は、学校のある日は、23時までの就寝を心がけ、十分な睡眠をとるようにしていましたか。	60.0	75.6	68.0	68.8	76.9	-8.2	↓
14	いじめや差別など、人権にかかわる話題について親子で話すことがありますか。	66.7	68.3	52.0	63.5	65.4	-1.9	
13	前日のうちに宿題を済ませ、授業に必要なものを準備していましたか。	70.0	51.2	72.0	62.5	58.5	4.0	
10	定期テストに向け、計画的に学習していましたか。	56.7	48.8	84.0	60.4	56.9	3.5	
9	自分の個性や興味・関心を生かした進路の選択をしようとしていると思われますか。	56.7	51.2	76.0	59.4	60.8	-1.4	
7	将来のために学習の大切さがわかり、意欲的に学習に取り組んでいますか。	46.7	46.3	84.0	56.3	62.3	-6.1	↓
8	お子様は、自分の将来の夢や目標を持っていると思われますか。	50.0	48.8	64.0	53.1	56.9	-3.8	
12	きまった時間に学習に取り組んでいましたか。	43.3	41.5	60.0	46.9	50.8	-3.9	
11	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)の家庭学習をしていましたか。	40.0	26.8	56.0	38.5	45.4	-6.9	↓
18	お子様は、メディアの使用時間を意識して生活していましたか。	26.7	22.0	40.0	28.1	36.9	-8.8	↓

の支援策や・対応策を拡充させながら、一人一人の生徒が心身ともに健康で、充実した学校生活を送ることができるよう、各種教育計画を見直しながら、2学期の教育活動を展開していきます。

課題についてですが、当校だけでなく、全国的に課題となっているのが「**家庭学習時間**」と「**メディア利用時間**」「**就寝時間（睡眠時間）**」のバランスです。生徒のアンケートと保護者のアンケートの肯定的評価の数値には大きな開きがありますが、どちらの項目も全項目の中で最下位の結果となっています。また、先日、令和6年度の全国学力学習状況調査（中学3年生対象）の結果が公表されましたが、当校は全国、新潟県と比較すると「**家庭学習時間が少ない**」「**インターネット、ゲーム、SNSの利用時間が長い**」「**就寝時間が遅い**」生徒が相対的に多くいることが明らかとなりました。また、同調査の「**将来の夢や目標**」「**進路選択**」などの調査項目においても、当校の生徒は相対的に「**将来の目標がない**」「**教科の勉強が嫌い**」「**自己肯定感が低い**」という結果でした。

保護者が「勉強しなさい」と口うるさく言ったり、教師が宿題やテストを課して**家庭学習時間の増加**を図ったりすることは、逆に**勉強嫌いの生徒**や目先の自己欲求のために**スマホ等の利用時間やゲーム時間が長くなる生徒**を生み出すとも言われています。3年生になると中学校卒業後の進路を考えるようになり、**高校進学に向けて家庭学習をする生徒**が少しずつ増える傾向はありますが、日頃の学校生活の様々な学びの中で、**将来の夢や目標を考え、自ら学ぼうとする生徒**を全職員で育ていきたいと思えます。そして、**生徒が自ら学ぶことの大切さに気付き、自己の進路実現のために努力できる生徒**を、保護者・地域と学校が協力して育てていきたいと考えています。

今後も、誰一人取り残さない教育環境の実現に、全教職員一丸となって取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<広島派遣報告>

上越市広島平和記念式典中学生派遣事業に参加した代表生徒の報告です。

広島平和記念式典中学生派遣事業に参加して

私は、この夏の8月5日から8月7日まで、広島平和記念式典中学生派遣事業に参加してきました。私がこの三日間で感じたことや体験したことを紹介します。

1日目、私たちはまず袋町小学校へ行きました。小学校の壁は伝言板になっていて、原爆投下などで亡くなった方を知らせるメッセージや、「家族を探しています」という言葉がたくさん書かれていました。伝言板からは当時の悲慘さが感じとられ、今後多くの人に見てもらいたいと思いました。次に見学した平和記念資料館には、真っ黒で何もない広島町の写真や、被爆者の方々のお話をもとに描かれた絵などがたくさん展示してありました。私が知っている広島と違い、本当に悲慘で、まさに地獄でした。

2日目は、平和記念公園で平和記念式典に参列しました。普段テレビで見ている場所や有名な人が目に目の前にいることが不思議でしたが、式典が始まると、広島市長や内閣総理大臣のお話に吸い込まれました。特に、子ども代表「平和への誓い」の言葉にあった「願うだけでは、平和は訪れません」を聞いた時、「自分は今日までに平和のために何か行動したのだろうか。願ってしかなかったのではないか。」と気付かされました。その後の献花や献水慰霊式では、原爆ドームの前で平和のために働いている被爆者援護会の皆さんと一緒に、当時原爆の被害で水を求めて亡くなられた方々への献水をしました。また夜には、元安川（もとやすがわ）で灯籠流しをしました。灯籠流しにはとても多くの方が集まっていて、水上にはたくさんの灯籠が輝きとても幻想的でした。

3日目には、雄志中の全校生徒で作った折り鶴を「原爆の子の像」へ献呈しました。像の周りには様々な色、大きさ、形の鶴が飾られていました。また碑文には「これはぼくらの叫びですこれは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」と、刻まれていました。

私はこの派遣事業を通して、原爆の恐ろしさと、被害者の方々が苦しんだことを知りました。広島で燃焼したウランは800グラム程度でしたが、爆心地から2キロメートルの建物は全て破壊され、広島市内の9割が壊滅的な被害を受けました。もし今、原子爆弾が世界のどこかに落とされたら、被害はもっと大きくなると思います。二度とこの過ちを繰り返さないために、そして世界に平和を築くために、広島で見たこと聞いたことを家族や友達に伝えるなど、自分にできることを行動にうつしていきたいです。



<10月の主な予定>

3日(木) 上越地区新人大会
8日(火) 3年生 上進連テスト
11日(金) 体育祭 *少雨決行
(荒天の場合は体育館開催)
16日(水)～18日(金) 教育相談
22日(火) 前期通知表配付予定
22日(火)～31日(木) 学級合唱練習
25日(金) 第2回漢字検定(希望者のみ)
28日(月) 避難訓練

10月3日開催 各種新人大会 会場

【ソフトテニス部】 上越総合運動公園
【卓球部】 上越市総合体育館
【バレーボール部】 かきざきドーム
【バスケットボール部】 リージョンプラザ上越

応援よろしくお願いします!

*新人水泳大会は8月30日に開催され、当校から1名出場しました。9月19日に予定されていた新人陸上競技大会は、荒天のため中止となりました。

お知らせ

10月26日(土)に、えちご上越農協 上越支店(上越市長面 94-1)にて開催される「農協まつり」のオープニングセレモニー(午前9時～)で、吹奏楽部と特設太鼓部が演奏します。ぜひ、ご来場ください。



<8月3日「津有北部夏まつり」太鼓部の様子>



<8月18日「高士夏まつり」吹奏楽部の様子>

<学校の様子は、学校ホームページで>

今年度は、雄志中学校のホームページで、学校の様子や給食などを写真付で随時(週2回ほど)、紹介しています。今年度は、これまでに50回ほど投稿し、150枚ほどの写真を掲載しています。お時間のある時に、ぜひご覧ください。

写真や記事などをもとに、親子で学校の様子等について会話がすすむことを期待しています。 *雄志中 HP <https://www.yushi.jorne.ed.jp/>



雄志中 HP